

2020年度 第2四半期(上半期)報告 説明資料

2020年11月24日
明治安田生命保険相互会社

I. 新型コロナウイルス感染症の拡大に対する当社の対応について	P 2
II. 2020年度第2四半期（上半期）報告のポイント	P 4
III. 「とことん！アフターフォロー特別計画」経営目標進捗状況	P 5
IV. 明治安田生命グループの業績	
1. グループ保険料	P 6
2. グループ基礎利益	P 7
3. 連結財務諸表、連結ソルベンシー・マージン比率、ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー（EEV）	P 8
V. 明治安田生命単体の業績	
1. 保険料等収入・年換算保険料（個人保険・個人年金保険）	P 9
2. 保有契約高（団体保険・団体年金保険）	P 10
3. 基礎利益	P 11
4. 資産運用収支	P 12
5. 健全性指標	P 13
6. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準	P 14
7. 契約クオリティ（解約・失効・減額率、総合継続率）	P 15
8. 損益計算書・貸借対照表	P 16
VI. スタンコープ社の業績【参考】	
1. スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益	P 17
2. 損益計算書・貸借対照表（スタンコープ社）	P 18
VII. 業績見通し	P 19

■ 新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな取組み

<p>お客さま</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保険料払込猶予期間の延長や、新規契約者貸付に対する利息減免などの特別取扱いをご案内 ■ 新型コロナウイルス感染症を原因とした死亡・高度障害に対する災害死亡保険金のお支払い等の特別取扱い <p>※ご利用いただいた特別取扱いの申込状況、新型コロナウイルス感染症を対象とした保険金等の支払状況はP3に記載</p>
<p>地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「私の地元応援募金」の実施【全国1,210団体に総額5.2億円】 ■ コロナ禍の影響により全国各地域で支援を必要とする自治体や医療機関、福祉施設等を対象に、従業員募金と会社寄付のマッチングによる「私の地元応援募金」を実施 ■ Jリーグとの「特別協賛」契約に基づく取組み ■ 地域社会がコロナ禍を乗り越える後押しとしてJリーグと協働し、地域の魅力を紹介する情報サイトの展開や、自宅で実施可能なエクササイズ動画の配信を実施 ■ 「道の駅」健活プロジェクトに基づく取組み ■ 全国の「道の駅」を対象に、新型コロナウイルス感染防止対策の支援を実施
<p>従業員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染防止の取組み ■ 全営業職員に貸与している社用スマートフォン（MYフォン）に新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を導入するとともに、役職員にもアプリ導入を推奨 ■ 感染予防対策として、入社前の検温、お客さまへの事前のアポイントを前提とした訪問営業、マスクの着用等を推進 ■ テレワーク・時差出勤の積極的な活用を推進。また、地方在住職員を対象に、テレワークを活用し、転居を伴わずに本社職務に従事する「リモート型」の試験展開を2021年度から実施

■ 経営計画体系の見直し

2020年度は、保険金・給付金のお支払い等の基幹業務の確実な実行と、コロナ禍においてもお客さまに寄り添ったアフターフォローを提供できる態勢構築を優先し、単年度の経営計画「とことん！アフターフォロー特別計画」を推進

<p>経営目標等</p>	<p>業績目標は設定せず、アフターフォローの進捗を測る指標等を「経営目標」に設定 また、その効果を測る「確認指標」と経営品質等を測る「検証指標」によって運営</p>
<p>重点方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> お客さま志向の取組みの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保険金・給付金のお支払い等の確実かつ丁寧な実行 ・ お客さまへのきめ細やかなアフターフォロー コロナ禍をふまえた追加的な取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 非対面インフラの整備・拡充 ・ 2「大」プロジェクトおよび社会貢献に関する取組みの推進 4「大」改革の先行実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年度からスタートする3ヵ年プログラム「MY Mutual Way I期」で予定する4「大」改革の一部先行実施

特別取扱いの申込状況、保険金等の支払状況

■特別取扱いの申込状況

	～4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
保険料払込猶予期間 の延長 ^(注1)	約0.4万件	約0.4万件	約0.2万件	約0.1万件	約0.06万件	約0.04万件	約1.2万件
新規の契約者貸付 ^(注2)	約4.2万件	約2.5万件	約1.8万件	—	—	—	約8.6万件

(注1) 保険料払込猶予期間の延長は2020年9月30日まで

(注2) 受付期間は2020年6月30日まで

■保険金等の支払状況

	～4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
死亡保険金	2件 580万円	19件 約1.0億円	27件 約1.6億円	18件 約1.1億円	7件 約0.4億円	18件 約0.4億円	91件 約4.8億円
うち 災害死亡保険金	0件 0円	3件 305万円	6件 約0.2億円	6件 約0.1億円	2件 113万円	4件 203万円	21件 約0.3億円
入院給付金	16件 292万円	92件 約0.1億円	264件 約0.8億円	104件 約0.2億円	219件 約0.2億円	362件 約0.5億円	1,057件 約2.0億円

1 「とことん！アフターフォロー特別計画」の経営目標は順調に進捗

- ・2020年度の「とことん！アフターフォロー特別計画」において経営目標に掲げる「お客さまアクセス数（個人営業・法人営業）」および「アドバイザー（営業職員）数」は順調に進捗

2 保険料等収入はグループ・単体ともに「減収」、基礎利益はグループ・単体ともに「横ばい」

- ・保険料等収入は外貨建て一時払保険の販売量減少等を主因とした明治安田生命単体の減収により、グループで1兆3,431億円と前年同期比7.9%の減収。なお、スタンコープ社は主力の団体保険事業が堅調に推移したことにより、1,554億円と前年同期比7.1%の増収
- ・基礎利益はグループ・単体ともに「横ばい」となり、過去最高水準を維持

3 財務基盤の強化等を通じて、高い健全性を維持

- ・ソルベンシー・マージン比率は連結・単体ともに1,000%超え。連結では1,124.7%と引き続き高い健全性を維持

4 2020年度通期では、グループ・単体ともに「減収減益」の見通し

- ・2020年度通期の保険料等収入・基礎利益は、不安定な金融環境の影響等をふまえ、グループ・単体ともに「減収減益」となる見通し

Ⅲ. 「とことん！アフターフォロー 特別計画」 経営目標進捗状況

項目	2020年度 目標値	実績値 (注5)		
		実績値	目標達成率	
お客さまアクセス数 (個人営業) (注1)	500万人	383.0万人	76.6%	
お客さまアクセス数 (法人営業)	団体保険 加入者 (注2)	250万人	87.6万人	35.1%
	団体保険等 窓口 (注3)	6,800団体	5,146団体	75.7%
アドバイザー (営業職員) 数 (注4)	34,500人 (前年差+約1,000人)	35,066人 (2020年度始差+1,599人)	101.6%	

(注1) 営業職員等が対面・非対面を通じてアクセスした生命保険契約者の人数。

なお、営業職員の当社呼称は「MYライフプランアドバイザー」(以下、アドバイザー)

(注2) 法人営業担当等がアクセス(団体・事業所を通じて行なう場合を含む)した任意加入の団体保険加入者の人数

(注3) 法人営業担当等がアクセスした既契約・窓販商品供給団体の団体数

(注4) 目標値は2021年度始の人数

(注5) 「お客さまアクセス数(個人営業)・(法人営業)」は2020年度上半期累計値、「アドバイザー(営業職員)数」は2020年10月1日時点

○「お客さまアクセス数(個人営業)」は383.0万人(目標達成率76.6%)と順調に進捗

○「お客さまアクセス数(法人営業)」は本格的なアクセス開始が7月からであり、いずれの項目も順調に進捗

○アドバイザー(営業職員)数は目標達成率101.6%と順調に進捗

1. グループ保険料

■ グループ保険料

(単位: 億円)

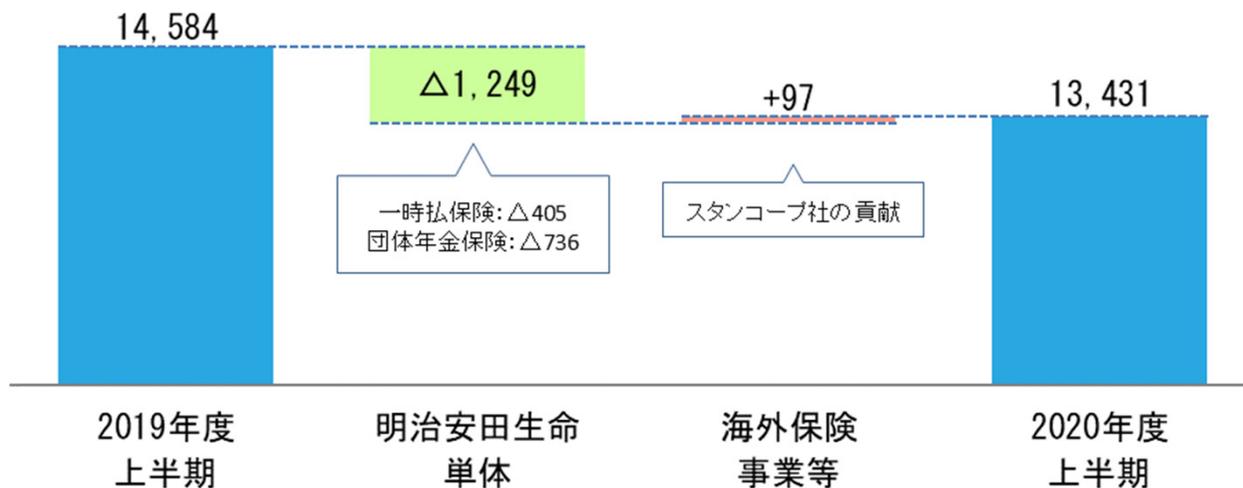
	2020年度 上半期			2019年度 上半期
	前年同期比	占率		
グループ保険料 (注1)	13,431	△7.9%	100.0%	14,584
明治安田生命単体	11,758	△9.6%	87.5%	13,008
海外保険事業等 (注2)	1,673	+6.2%	12.5%	1,576
うちスタンコープ社	1,554	+7.1%	11.6%	1,451

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、上半期グループ業績への反映期間は1月から6月までの6ヵ月

■ グループ保険料の主な増減要因

(単位: 億円)



○グループ保険料は、1兆3,431億円と前年同期比7.9%減収

- ・明治安田生命単体において、金利低下による外貨建て一時払保険の販売量減少および団体年金保険の減少を主因に減収

○グループ保険料のうち、海外保険事業等は1,673億円と前年同期比6.2%増収

- ・スタンコープ社は、主力の団体保険事業が堅調に推移したことにより前年同期比7.1%増収

- ・グループ保険料に占める海外保険事業等の割合は12.5%

2. グループ基礎利益

■ グループ基礎利益

(単位:億円)

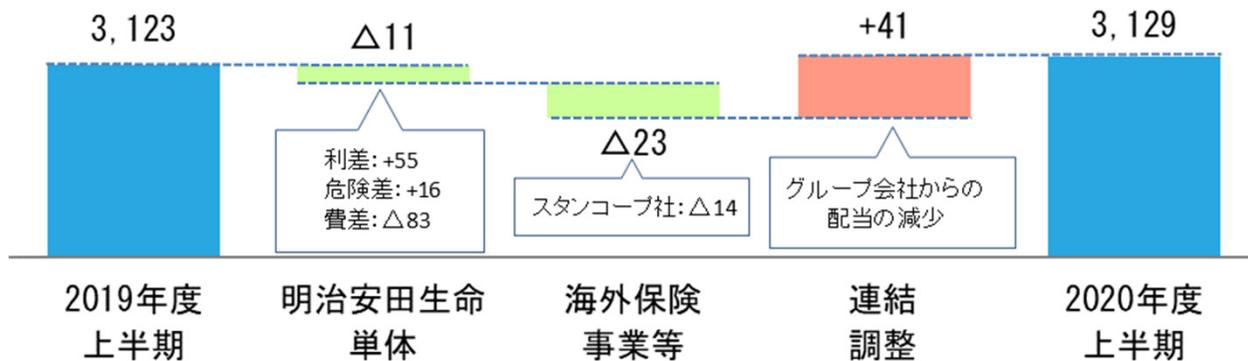
	2020年度 上半期			2019年度 上半期
	前年同期比	占率		
グループ基礎利益 (注1)	3,129	+0.2%	100.0%	3,123
うち明治安田生命単体	2,843	△0.4%	90.9%	2,854
うち海外保険事業等 (注2)	314	△7.0%	10.0%	337
うちスタンコープ社	230	△5.8%	7.4%	244

(注1) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値

(注2) 海外保険事業等は、国内生命保険事業以外の合算。なお、海外の子会社等は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、上半期グループ業績への反映期間は1月から6月までの6ヵ月

■ グループ基礎利益の主な増減要因

(単位:億円)



○グループ基礎利益は、3,129億円と前年同期比で横ばいとなり、過去最高水準を維持

- ・明治安田生命単体、海外保険事業等ともに減益となったが、連結調整項目である明治安田生命単体が受け取るグループ会社からの配当（グループ基礎利益から消去される額）が減少したことを要因に、グループ全体では横ばい

○グループ基礎利益のうち、海外保険事業等は314億円と前年同期比7.0%減益

- ・グループ基礎利益に占める海外保険事業等の割合は10.0%

■ グループ基礎利益の推移



3. 連結財務諸表、連結ソルベンシー・マージン比率、ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)

■ 連結損益計算書 (要約)

(単位:億円)

	2020年度		2019年度 上半期
	上半期	前年同期比	
経常収益 (A)	19,886	△2.3%	20,351
うち保険料等収入	13,431	△7.9%	14,584
うち資産運用収益	6,008	+15.9%	5,183
経常費用 (B)	18,250	△2.8%	18,766
うち保険金等支払金	12,190	△0.6%	12,267
うち責任準備金等繰入額	1,475	△12.0%	1,677
うち資産運用費用	1,453	△14.3%	1,696
うち事業費	2,369	+1.7%	2,329
経常利益 (A-B)	1,636	+3.2%	1,584
特別損益	△158	—	△146
法人税等合計	148	△4.1%	154
非支配株主に帰属する中間純剰余	0	△13.8%	0
親会社に帰属する中間純剰余	1,328	+3.5%	1,283

■ 連結ソルベンシー・マージン比率、
ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)

(単位:億円)

	2020年度		2019年度末
	上半期末	前年度末差	
連結ソルベンシー・マージン比率 (注1)	1,124.7%	△18.9ポイント	1,143.6%
グループEEV (注2)	51,750	+6,380	45,370

(注1) 「ソルベンシー・マージン比率」とは、大災害や株価の暴落等、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つ。この数値が200%を下回った場合、監督当局による業務改善命令等の対象

(注2) 「ヨーロッパ・エンベディッド・バリュー(EEV)」とは、生命保険会社の企業価値を表わす指標の一つであり、保有契約から見込まれる将来利益の現在の価値や、保有資産の含み損益等で構成

■ 連結貸借対照表 (要約)

(単位:億円)

	2020年度		2019年度末
	上半期末	前年度末差	
資産の部合計	435,510	+9,371	426,138
うち現預金・コールローン	12,653	△711	13,364
うち有価証券	349,260	+9,030	340,230
うち貸付金	49,534	+400	49,134
うち有形固定資産	9,018	△33	9,052
うち無形固定資産	4,214	△207	4,422
負債の部合計	396,087	+5,362	390,725
うち保険契約準備金	360,488	+2,312	358,176
うち責任準備金	350,133	+1,649	348,484
うち社債	6,680	△5	6,685
うちその他負債	17,467	+1,624	15,842
うち価格変動準備金	8,420	+84	8,336
うち繰延税金負債	1,904	+1,339	564
純資産の部合計	39,422	+4,009	35,413
うち基金・基金償却積立金	9,800	—	9,800
うち連結剰余金	4,593	△165	4,759
うちその他有価証券評価差額金	24,322	+4,392	19,930

※資産の部合計は、43兆5,510億円（前年度末比2.2%増）となりました。主な資産構成は、有価証券34兆9,260億円（同2.7%増）、貸付金が4兆9,534億円（同0.8%増）です。

負債の部合計は、39兆6,087億円（同1.4%増）となりました。負債の大部分を占める保険契約準備金は36兆488億円（同0.6%増）となりました。

純資産の部合計は、3兆9,422億円（同11.3%増）となりました。純資産の部のうち、基金・基金償却積立金は9,800億円（同増減なし）、その他有価証券評価差額金は2兆4,322億円（同22.0%増）となりました。

1. 保険料等収入・年換算保険料（個人保険・個人年金保険）

■ 保険料等収入の状況

（単位：億円）

	2020年度 上半期		前年同期比	2019年度 上半期	
保険料等収入	11,758		△9.6%	13,008	
うち個人保険・個人年金保険	7,627		△7.0%	8,200	
うち営業職員チャンネル	6,312		△6.5%	6,754	
うち平準払保険	6,026		△2.2%	6,163	
うち一時払保険	285		△51.7%	590	
うち銀行窓販チャンネル	1,135		△9.5%	1,254	
うち団体保険	1,424		+0.4%	1,418	
うち団体年金保険	2,474		△22.9%	3,211	

■ 新契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	2020年度 上半期		前年同期比	2019年度 上半期	
新契約年換算保険料	409		△18.5%	502	
うち営業職員チャンネル	351		△19.5%	436	
うち銀行窓販チャンネル	50		△9.7%	55	
うち第三分野 ^(注)	153		△21.1%	194	

■ 保有契約年換算保険料の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：億円）

	2020年度 上半期末		前年度末比	2019年度末	
保有契約年換算保険料	22,032		△1.1%	22,267	
うち営業職員チャンネル	16,236		△0.8%	16,359	
うち銀行窓販チャンネル	5,342		△1.9%	5,447	
うち第三分野 ^(注)	4,485		+0.7%	4,452	

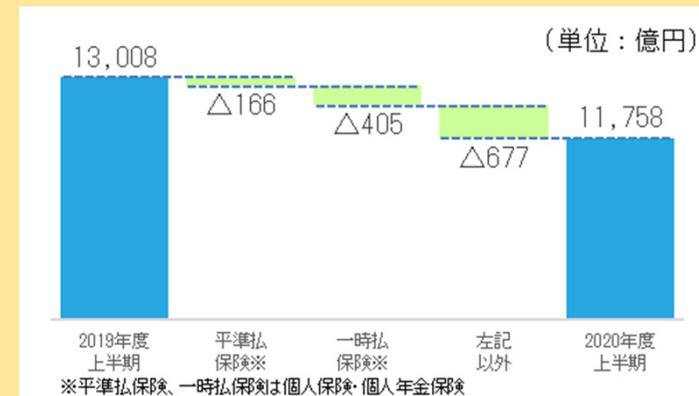
（注）第三分野は、医療保障給付、生前給付保障給付、保険料払込免除給付等に該当する部分を計上

○保険料等収入は、1兆1,758億円と前年同期比9.6%減収

- ・個人保険・個人年金保険は、外貨建て一時払保険の販売量減少を主因として、前年同期比7.0%減少。なお、営業職員チャンネルの平準払保険は前年同期比2.2%の減少にとどまる
- ・団体年金保険は前年同期に大口契約があったため、この反動減を主因として前年同期比22.9%減少

○新契約年換算保険料は、営業活動自粛の影響等により前年同期比18.5%の減少。対面での営業活動を全国で再開した7月以降の業績は徐々に回復傾向

■ 保険料等収入の増減要因



2. 保有契約高（団体保険・団体年金保険）

■ 保有契約高の状況（団体保険・団体年金保険）

（単位：億円）

	2020年度 上半期末		2019年度末
		前年度末比	
団体保険	1,159,818	△0.3%	1,163,348
団体年金保険 (国内グループ) (注)	78,353 91,049	+0.6% +0.9%	77,864 90,228

(注) 国内グループは明治安田生命単体および明治安田アセットマネジメントの合計

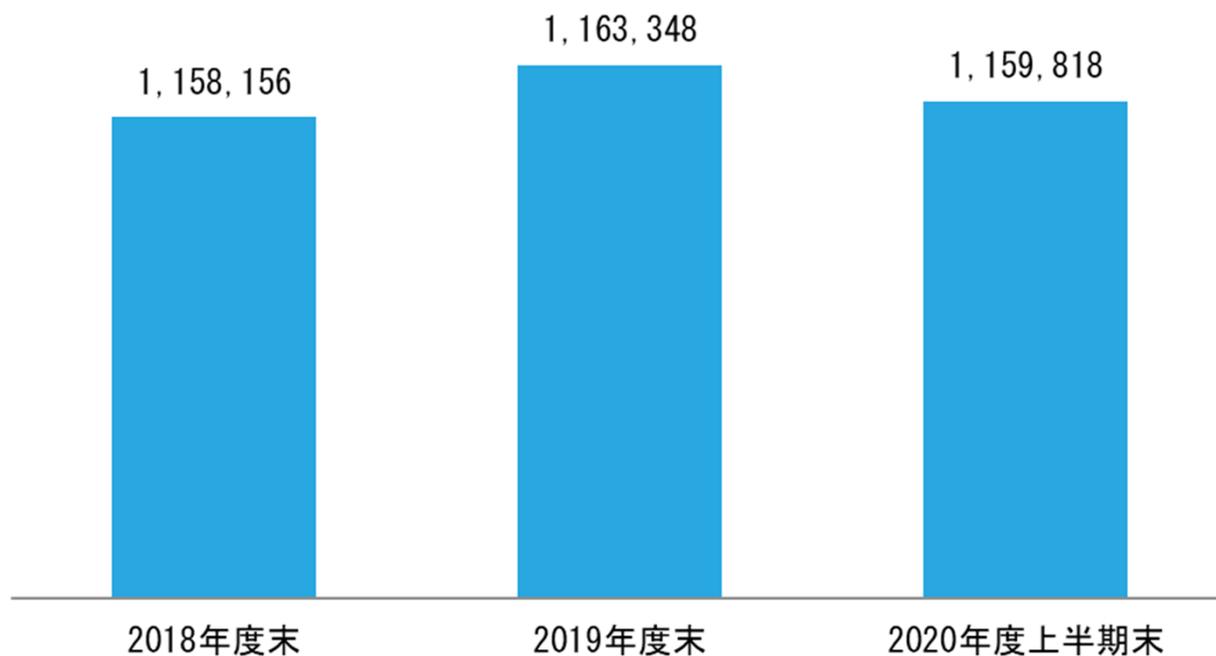
○ 団体保険は、1兆9,818億円と前年度末比0.3%減少

・ 引き続き業界トップシェアを堅持

○ 団体年金保険は、7兆8,353億円と前年度末比0.6%増加

■ 団体保険の保有契約高の推移

（単位：億円）



3. 基礎利益

■ 基礎利益等の状況

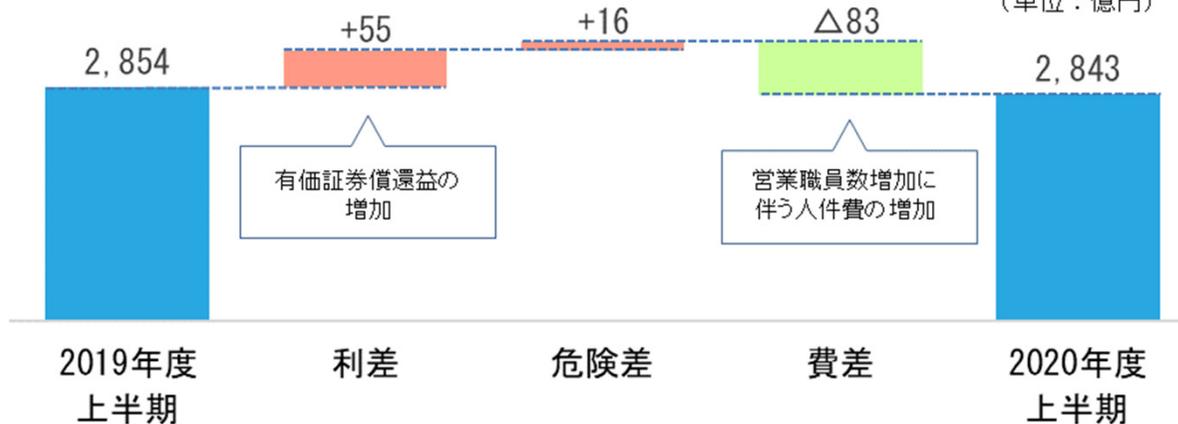
(単位: 億円)

	2020年度 上半期		前年同期差	2019年度 上半期
基礎利益 (A)	2,843		△11	2,854
利差	1,459		+55	1,404
危険差	1,346		+16	1,330
費差	36		△83	119
キャピタル損益 (B)	△462		+668	△1,130
臨時損益 (C) (注)	△897		△623	△274
経常利益 (A+B+C)	1,484		+34	1,449

(注) 臨時損益には、危険準備金繰入・戻入額および追加責任準備金繰入額等を含む

■ 基礎利益の主な増減要因

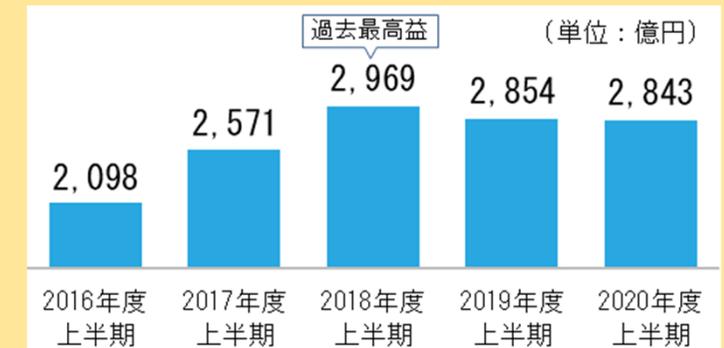
(単位: 億円)



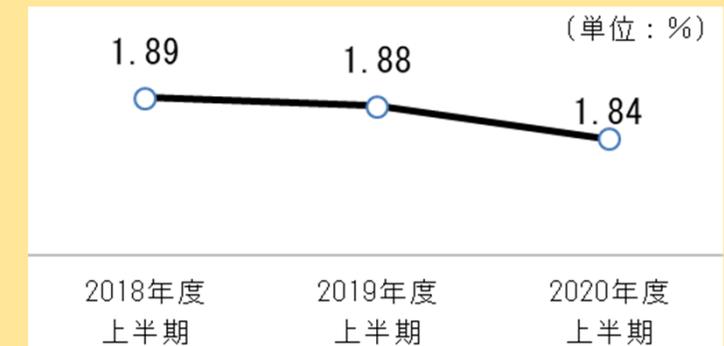
○基礎利益は、2,843億円と前年同期から11億円減益となったものの、過去最高水準を維持

- ・ 有価証券償還益の増加等により、利差益が55億円増加
- ・ 営業職員数の増加に伴う人件費の増加等により、費差益が83億円減少

■ 基礎利益の推移



■ 平均予定利率の推移



4. 資産運用収支

■ 資産運用収支の状況

(単位:億円)

	2020年度 上半期		2019年度 上半期
		前年同期差	
資産運用収支 (全社)	4,327	+1,025	3,302
資産運用収支 (一般勘定)	3,974	+759	3,215
資産運用収益	5,230	+503	4,727
利息及び配当金等収入	4,180	△69	4,250
有価証券売却益	387	+264	122
有価証券償還益	660	+310	349
資産運用費用	1,256	△256	1,512
有価証券売却損	79	+69	10
有価証券評価損	215	△42	258
有価証券償還損	330	+220	110
金融派生商品費用	220	△475	696
為替差損	171	△27	199

○資産運用収支 (一般勘定) は、3,974 億円と前年同期差 759 億円増加

・ 株式等売却益や外国公社債等の償還益の増加、およびヘッジコストの改善等による金融派生商品費用の減少が寄与

○利息及び配当金等収入は、4,180 億円と前年同期差 69 億円減少

・ 国内外株式や外国証券の配当金収入等の減少が影響

■ 資産運用収支 (一般勘定) の推移



【参考】2020年度上半期報告の運用環境

	2020年度 上半期末		2019年度 上半期末	2019年度末
		前年同期末差		
TOPIX	1,625.49	+37.69	1,587.80	1,403.04
日経平均株価 (円)	23,185.12	+1,429.28	21,755.84	18,917.01
10年国債利回り (%)	0.015	+0.230	△0.215	0.005
米国10年国債利回り (%)	0.684	△0.981	1.665	0.670
円相場 (円/米ドル)	105.80	△2.12	107.92	108.83
円相場 (円/ユーロ)	124.17	+6.15	118.02	119.55

5. 健全性指標

■ ソルベンシー・マージン比率

(単位:%)

	2020年度上半期末		2019年度末
		前年度末差	
ソルベンシー・マージン比率	1,051.5	△17.8 ^{ポイント}	1,069.3

○ソルベンシー・マージン比率は、金融環境の変動等を受けて、1,051.5%と前年度末から17.8ポイント減少したものの、1,000%を超えており、引き続き高い健全性を維持

■ オンバランス自己資本

(単位:億円)

	2020年度上半期末		2019年度末
		前年度末差	
オンバランス自己資本 ^(注)	38,132	+806	37,326

○オンバランス自己資本は、内部留保の積み増し等により、3兆8,132億円と前年度末から806億円増加

(注) 資本性が比較的強いと考えられる部分に限定した内部留保、外部調達資本等

■ オンバランス自己資本の推移



■ 実質純資産額

(単位:億円、%)

	2020年度上半期末		2019年度末
		前年度末差	
実質純資産額	99,806	+4,839	94,966
一般勘定資産に対する比率	25.2	+0.7 ^{ポイント}	24.5

○実質純資産額は、9兆9,806億円と引き続き高い財務健全性を確保

6. 含み損益、国内株式含み損益ゼロ水準

■ 一般勘定資産全体の含み損益

(単位:億円)

	2020年度 上半期末		2019年度末
		前年度末差	
一般勘定資産全体の含み損益	60,289	+4,267	56,021
うち時価のある有価証券(注1)	55,061	+4,430	50,631
うち公社債	24,612	△1,711	26,324
うち株式	22,884	+5,323	17,561
うち外国証券	6,915	+358	6,557
うち不動産	5,458	+29	5,428

(注1) 有価証券には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含む

■ 国内株式含み損益ゼロ水準

仮に当社ポートフォリオがTOPIXにフル連動とした場合

	2020年度上半期末(注2)	2019年度末
TOPIXベース	660ポイント程度	660ポイント程度

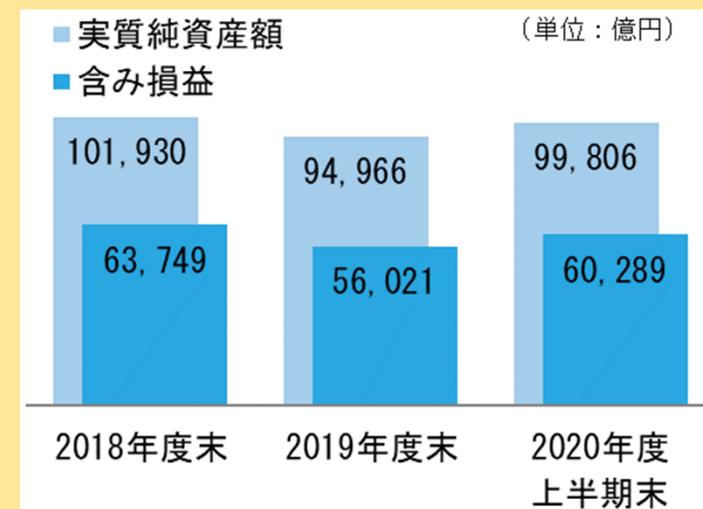
(注2) 日経平均株価ベースでは9,500円程度

○一般勘定資産全体の含み損益は
6兆289億円と前年度末差4,267
億円増加

・国内金利の上昇により公社債の含み益
が減少した一方、株価上昇により株式の
含み益が増加

○株式の含み損益は、月中平均価格ベース
で2兆2,884億円と前年度末差
5,323億円増加

■ 含み損益の推移



7. 契約クオリティ（解約・失効・減額率、総合継続率）

■ 解約・失効・減額率（注1）の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：％）

	2020年度 上半期	前年同期差	2019年度 上半期
解約・失効・減額率	1.93	△0.06ポイント	1.99

（注1）年度始保有契約年換算保険料に対する解約・失効・減額年換算保険料の割合。保険料払込猶予中の契約は有効契約として算出

■ 総合継続率（注2）の状況（個人保険・個人年金保険）

（単位：％）

	2020年度 上半期	前年同期差	2019年度 上半期
13月目総合継続率	95.0	+0.5ポイント	94.5
25月目総合継続率	88.5	△0.4ポイント	88.9
61月目総合継続率	70.8	+1.3ポイント	69.5

（注2）総合継続率は、契約高ベースにて算出。保険料払込猶予中の契約は有効契約として算出

○契約クオリティを示す指標は、引き続き良好に推移

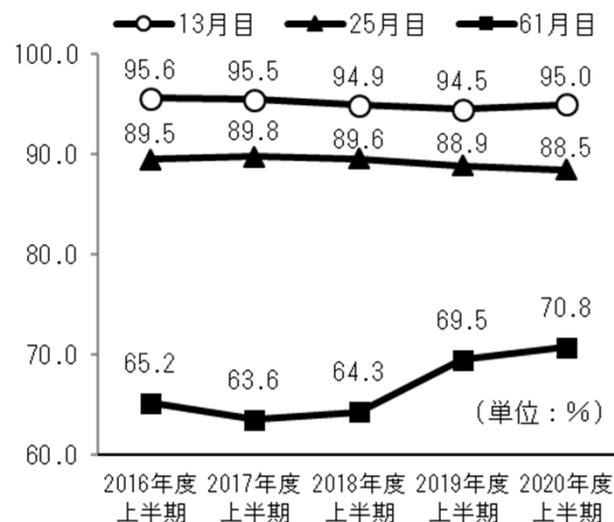
- ・解約・失効・減額率は、1.93%と前年同期差0.06ポイント改善
- ・総合継続率は、13月目・25月目ともに高水準を維持するとともに、61月目は前年同期から向上

■ 解約・失効・減額率の推移

（単位：％）



■ 総合継続率の推移



8. 損益計算書・貸借対照表

■ 損益計算書（要約）

	2020年度		2019年度 上半期
	上半期	前年同期比	
経常収益 (A)	17,635	△3.1%	18,207
うち保険料等収入	11,758	△9.6%	13,008
うち資産運用収益	5,584	+16.0%	4,814
経常費用 (B)	16,151	△3.6%	16,757
うち保険金等支払金※	11,048	△1.0%	11,160
うち責任準備金等繰入額	1,436	△13.5%	1,660
うち資産運用費用	1,256	△16.9%	1,512
うち事業費	1,783	+0.5%	1,774
経常利益 (A-B)	1,484	+2.4%	1,449
特別損益	△159	-	△145
法人税等合計	96	△9.1%	105
中間純剰余	1,228	+2.6%	1,197

(単位:億円)

■ 貸借対照表（要約）

	2020年度		2019年度末
	上半期末	前年度末差	
資産の部合計	404,218	+8,910	395,308
うち現預金・コールローン	12,053	△901	12,954
うち有価証券	333,411	+8,999	324,412
うち貸付金	41,194	+140	41,054
うち有形固定資産	8,621	△24	8,646
うち無形固定資産	831	△57	889
負債の部合計	364,810	+5,057	359,752
うち保険契約準備金	330,954	+2,147	328,807
うち責任準備金	326,538	+1,436	325,102
うち社債	6,407	-	6,407
うちその他負債	16,606	+1,529	15,076
うち価格変動準備金	8,409	+84	8,324
うち繰延税金負債	1,414	+1,277	136
純資産の部合計	39,408	+3,852	35,556
うち基金・基金償却積立金	9,800	-	9,800
うち剰余金	4,341	△266	4,607
うちその他有価証券評価差額金	23,677	+4,169	19,508

(単位:億円)

※ 保険金等支払金の内訳

	2020年度		2019年度 上半期
	上半期	前年同期比	
保険金等支払金	11,048	△1.0%	11,160
うち保険金・給付金	4,701	△11.8%	5,327
うち年金	3,159	+8.6%	2,910
うち解約返戻金・その他返戻金	3,169	+9.3%	2,901

(単位:億円)

※資産の部合計は、40兆4,218億円（前年度末比2.3%増）となりました。主な資産構成は、有価証券33兆3,411億円（同2.8%増）、貸付金が4兆1,194億円（同0.3%増）です。

負債の部合計は、36兆4,810億円（同1.4%増）となりました。負債の大部分を占める保険契約準備金は33兆954億円（同0.7%増）となりました。

純資産の部合計は、3兆9,408億円（同10.8%増）となりました。純資産の部のうち、基金・基金償却積立金は9,800億円（同増減なし）、その他有価証券評価差額金は2兆3,677億円（同21.4%増）となりました。

1. スタンコープ社の保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益

■ 保険料等収入、基礎利益相当額、当期純利益の状況 (注1)

(単位: 億円)

	2020年度 上半期		前年同期比	2019年度 上半期
保険料等収入	1,554	+7.1%		1,451
基礎利益相当額 (注2)	230	△5.8%		244
当期純利益	140	△9.5%		155

(注1) スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、上半期グループ業績への反映期間は1月から6月までの6ヵ月分

(注2) 基礎利益相当額は、税引前利益からキャピタル損益や買収会計に伴う無形資産償却費用等を控除したもの

※ 2019年度上半期は2019年6月末の為替レート (1米ドル=107.79円)、2020年度上半期は2020年6月末の為替レート (1米ドル=107.74円) で円換算

○保険料等収入は、主力の団体保険事業で新契約および既契約更新がともに良好に推移し、1,554億円と前年同期比7.1%増加

○基礎利益相当額は、過去最高益を記録した前年同期から5.8%減少し230億円

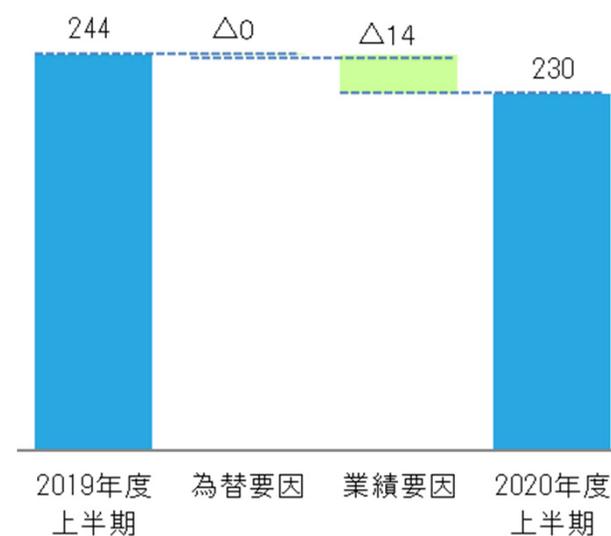
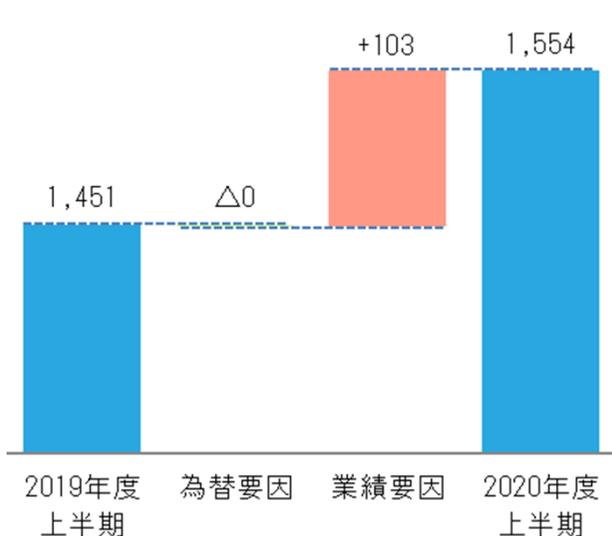
○当期純利益は前年同期比9.5%減少の140億円

■ 保険料等収入の増減要因

(単位: 億円)

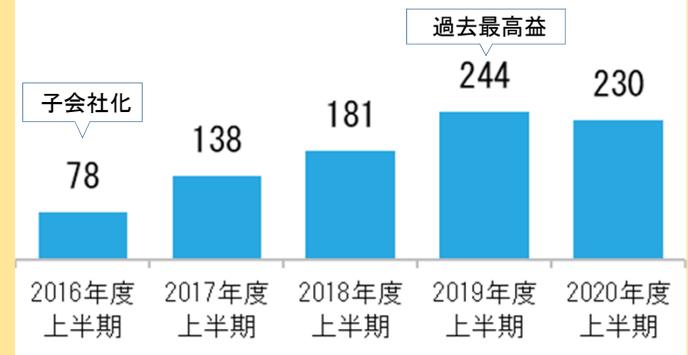
■ 基礎利益相当額の増減要因

(単位: 億円)



■ 基礎利益相当額の推移

(単位: 億円)



※ 2016年度上半期は3月 (株式取得月) から6月までの4ヵ月分
 ※ 各年度の為替レートは、2016年6月末 1米ドル=102.91円、2017年6月末 同112.00円、2018年6月末 同110.54円、2019年6月末 同107.79円、2020年6月末 同107.74円で換算

2. 損益計算書・貸借対照表（スタンコープ社）

■ 損益計算書（要約）（注1）

（単位：億円）

	2020年度 上半期 (注2)		前年同期比	2019年度 上半期 (注3)
経常収益 (A)	2,060	+4.6%	1,968	
うち保険料等収入	1,554	+7.1%	1,451	
うち資産運用収益	431	+3.0%	418	
経常費用 (B)	1,886	+6.2%	1,777	
うち保険金等支払金	1,085	+3.4%	1,050	
うち責任準備金等繰入額	34	—	0	
うち資産運用費用	196	+6.9%	183	
うち事業費	478	+6.7%	448	
経常利益 (A - B)	173	△9.4%	191	
特別損益	△0	—	△0	
法人税等合計	32	△8.5%	36	
中間純利益	140	△9.5%	155	

■ 貸借対照表（要約）（注1）

（単位：億円）

	2020年度 上半期末 (注2)		前年度末差	2019年度末 (注4)
資産の部合計	36,953	+262	36,690	
うち現預金・コールローン	365	+23	342	
うち有価証券	21,809	+95	21,714	
うち貸付金	8,083	+268	7,815	
うち有形固定資産	285	△6	292	
うち無形固定資産	3,705	△118	3,823	
負債の部合計	30,306	+144	30,162	
うち保険契約準備金	28,801	+163	28,637	
うち責任準備金	22,927	+207	22,720	
うち社債	272	△5	278	
うちその他負債	658	△49	708	
うち繰延税金負債	481	+49	432	
純資産の部合計	6,646	+118	6,528	
うち資本剰余金	5,333	△90	5,423	
うち利益剰余金	789	△18	808	
うちその他有価証券評価差額金	563	+226	337	

（注1）米国の会計基準で作成した財務諸表を、日本の会計基準に準じて組み替え。なお、スタンコープ社は決算日が明治安田生命単体と3ヵ月ずれるため、損益計算書は1月から6月の実績

（注2）2020年6月末の為替レート(1米ドル=107.74円)で円換算

（注3）2019年6月末の為替レート(1米ドル=107.79円)で円換算

（注4）2019年12月末の為替レート(1米ドル=109.56円)で円換算

2020年度業績見通し

■ グループ保険料の見通し

	2020年度 上半期報告時		前年度比	2019年度 実績
グループ保険料 (注1)	26,400億円程度	減少(91%)		29,118億円
うち明治安田生命単体	23,100億円程度	減少(89%)		25,933億円
うちスタンコープ社	3,020億円程度	横ばい(103%)		2,944億円

■ グループ基礎利益の見通し

	2020年度 上半期報告時		前年度比	2019年度 実績
グループ基礎利益 (注2)	5,100億円程度	減少(80%)		6,355億円
うち明治安田生命単体	4,800億円程度	減少(81%)		5,916億円
うちスタンコープ社	350億円程度	減少(71%)		493億円

※業績見通しは、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

(注1) グループ保険料は連結損益計算書上の保険料等収入

(注2) グループ基礎利益は、明治安田生命の基礎利益に連結される子会社および子法人等ならびに持分法適用の関連法人等のキャピタル損益等を控除した税引前利益のうち明治安田生命の持分相当額を合算し、明治安田生命グループ内の内部取引の一部を相殺した数値

○保険料等収入・基礎利益は、不安定な金融環境の影響等をふまえ、グループ・単体ともに「減収減益」となる見通し

■ グループ基礎利益の推移

